

# 小学校図画工作

- 1 小学校図画工作の「内容のまとめり」
- 2 内容のまとめりごとの題材の目標を作成する
- 3 作成のポイントを踏まえて題材の目標から評価規準を作成する
- 4 指導計画の作成
- 5 指導と評価の実際



## 1 小学校図画工作の「内容のまとめり」

小学校図画工作科における内容のまとめりは、以下のようになっている。

### 〔第1学年及び第2学年〕

造形遊び……「A表現」(1)ア, (2)ア, [共通事項](1)ア, イ  
絵や立体, 工作……「A表現」(1)イ, (2)イ, [共通事項](1)ア, イ  
鑑賞……「B鑑賞」(1)ア, [共通事項](1)ア, イ

### 〔第3学年及び第4学年〕

造形遊び……「A表現」(1)ア, (2)ア, [共通事項](1)ア, イ  
絵や立体, 工作……「A表現」(1)イ, (2)イ, [共通事項](1)ア, イ  
鑑賞……「B鑑賞」(1)ア, [共通事項](1)ア, イ

### 〔第5学年及び第6学年〕

造形遊び……「A表現」(1)ア, (2)ア, [共通事項](1)ア, イ  
絵や立体, 工作……「A表現」(1)イ, (2)イ, [共通事項](1)ア, イ  
鑑賞……「B鑑賞」(1)ア, [共通事項](1)ア, イ



## 2 内容のまとめりごとの題材の目標を作成する

### (例)〔第3学年〕 絵や立体, 工作 題材名「のこぎりザクザク生まれる形」

#### ① その題材で指導する事項を学習指導要領で確認する

★学習指導要領の「学年の目標」「内容」や学習指導要領解説を基に, 指導することを確認する。

★「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力等」は「内容」を参考にする。

★「学びに向かう力人間性等」は学年の目標(3)を参考にする。

知識(緑)

技能(青)

思考・判断・表現(赤)

造形遊び……………「A表現」(1)ア, (2)ア, [共通事項](1)ア, イ  
 絵や立体, 工作……「A表現」(1)イ, (2)イ, [共通事項](1)ア, イ  
 鑑賞……………「B鑑賞」(1)ア, [共通事項](1)ア, イ

小学校学習指導要領(H29) P126~130

A 表現	(1)表現の活動を通して, 発想や構想に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 <u>イ 絵や立体, 工作に表す活動を通して, 感じたこと, 想像したこと, 見たことから, 表したいことを見付けることや, 表したいことや用途などを考え, 形や色, 材料などを生かしながら, どのように表すかについて考えること。</u>
	(2)表現の活動を通して, 技能に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 <u>イ 絵や立体, 工作に表す活動を通して, 材料や用具を適切に扱うとともに, 前学年までの材料や用具についての経験を生かし, 手や体全体を十分に働かせ, 表したいことに合わせて表し方を工夫して表すこと。</u>
B 鑑賞	(1)鑑賞の活動を通して, 次の事項を身に付けることができるよう指導する。 <u>ア 身近にある作品などを鑑賞する活動を通して, 自分たちの作品や身近な美術作品, 製作の過程などの造形的なよさや面白さ, 表したいこと, いろいろな表し方などについて, 感じ取ったり考えたりし, 自分の見方や感じ方を広げること。</u>
〔共通事項〕	(1)「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して, 次の事項を身に付けることができるよう指導する。 <u>ア 自分の感覚や行為を通して, 形や色などに気付くこと。</u> <u>イ 形や色などを基に, 自分のイメージをもつこと。</u>

#### (3) 学びに向かう力人間性等

目標(3) ・進んで表現したり鑑賞したりする活動に取り組み, つくりだす喜びを味わうとともに, 形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養う。

## (例)〔第3学年〕 絵や立体, 工作「のこぎりザクザク生まれる形」

②題材に即してどのような内容が当てはまるか考える。それを踏まえて, 書き換えたり削除したりする

★「絵や立体, 工作に表す活動」は内容のまとまりを表すものなので削除する。

★文末の「こと」を削除する。

★題材の特徴が表われるように書き換える。

### (1) 知識及び技能

〔共通事項〕(1)ア ・自分の感覚や行為を通して, 形や色などの感じなどが分かること。

〔A表現〕(2)イ ・絵や立体, 工作に表す活動を通して, 材料や用具を適切に使うとともに, 前学年までの材料や用具についての経験を生かし, 手や体全体を十分に働かせ, 表したいことに合わせて表し方を工夫して表すこと。

### (2) 思考力, 判断力, 表現力等

〔A表現〕(1)イ ..... 絵や立体, 工作に表す活動を通して, 感じたことや想像したこと, 見たことから, 表したいことを見付けることや, 表したいことや用途などを考え, 形や色, 材料などを生かしながら, どのように表すかについて考えること。

〔B鑑賞〕(1)ア ..... 身近にある作品などを鑑賞する活動を通して, 自分たちの作品や身近な美術作品, 制作の過程などの造形的なよさや面白さ, 表したいこと, いろいろな表し方などについて, 感じ取ったり考えたりし, 自分の見方や感じ方を広げること。

〔共通事項〕(1)イ ..... 形や色などの感じを基に, 自分のイメージをもつこと。

### (3) 学びに向かう力人間性等

目標(3) ・進んで表現したり鑑賞したりする活動に取り組み, つくりだす喜びを味わうとともに, 形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養う。

## 題材の目標

### (1) 知識及び技能に関する題材の目標

・自分の感覚や行為を通して, 形や色などの組合せによる感じなどが分かる。

・木やのこぎりを適切に使うとともに, 前学年までの木や接着剤などについての経験を生かし, 手や体全体を十分に働かせ, 表したいことに合わせて表し方を工夫して表す。

### (2) 思考力, 判断力, 表現力等に関する題材の目標

・木を切ったり組み合わせたりして感じたことや想像したことから, 表したいことを見付け, 形や色などを生かしながら, どのように表すかについて考える。

・自分たちの作品の造形的なよさや面白さ, 表したいこと, いろいろな表し方などについて, 感じ取ったり考えたりし, 自分の見方や感じ方を広げる。

・形や色などの組合せによる感じなどを基に, 自分のイメージをもつ。

### (3) 学びに向かう力人間性等に関する題材の目標


・進んで木を切ったり組み合わせたりして立体に表したり鑑賞したりする学習活動に取り組み, つくりだす喜びを味わうとともに, 形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養う。

### 3 作成のポイントを踏まえて、題材の目標から題材の評価規準を作成する (例)〔第3学年〕絵や立体、工作「のこぎりザクザク生まれる形」

<p>(1) 知識及び技能に関する題材の目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の感覚や行為を通して、形や色などの組合せによる感じなどが分かる。</li> <li>・木やのこぎりを適切に使うとともに、前学年までの木や接着剤などについての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表す。</li> </ul>		
<p>(2) 思考力、判断力、表現力等に関する題材の目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・木を切ったり組み合わせたりして感じたことや想像したことから、表したいことを見付け、形や色などを生かしながら、どのように表すかについて考える。</li> <li>・自分たちの作品の造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げる。</li> <li>・形や色などの組合せによる感じなどを基に、自分のイメージをもつ。</li> </ul>		
<p>(3) 学びに向かう力人間性等に関する題材の目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・進んで木を切ったり組み合わせたりして立体に表す学習活動に取り組み、作りだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養う。</li> </ul>		
「知識・技能」作成のポイント	「思考・判断・表現」作成のポイント	「主体的に学習に取り組む態度」作成のポイント
<p>「知識」について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文末は、学習の状況の評価することを踏まえて「～している」とする。</li> </ul> <p>「技能」について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文末は、学習の状況の評価することを踏まえて「～している」とする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・〔共通事項〕(1)イに続けて「A表現」(1)イを示し、「自分のイメージをもつ。」を「自分のイメージをもちながら。」とする。</li> <li>・〔共通事項〕(1)イに続けて「B鑑賞」(1)アを示し、「自分のイメージをもつ。」を「自分のイメージをもちながら。」とする。</li> <li>・文末は、学習の状況の評価することを踏まえて「～している」とする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「主体的に学習に取り組む態度」は「学びに向かう力人間性等」から、観点別に学習状況の評価するものだけを示す。具体的には、中学年の「形や色などに関わり楽しい生活を創造する態度を養う」は個人内評価とするため削除する。</li> <li>・「活動」を「学習活動」とする。</li> <li>・文末は、学習状況の評価することや児童の意志的な側面も評価することから「～しようとしている」とする。</li> </ul>

## 【題材の評価規準 例】

(例) 絵や立体, 工作に表す活動 [第3学年] 題材名「のこぎりザクザク生まれる形」

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"><li>・自分の感覚や行為を通して, 形や色などの組合せによる感じなどが分かっている。</li><li>・木やのこぎりを適切に使うとともに, 前学期までの木や接着剤などについての経験を生かし, 手や体全体を十分に働かせ, 表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・形や色などの組合せによる感じなどを基に, 自分のイメージをもちながら, 木を切ったり組み合わせたたりして感じたことや想像したことから, 表したいことを見付け, 形や色などを生かしながら, どのように表すかについて考えている。</li><li>・形や色などの組合せによる感じなどを基に, 自分のイメージをもちながら, 自分たちの作品の造形的なよさや面白さ, 表したいこと, いろいろな表し方などについて, 感じ取ったり考えたりし, 自分の見方や感じ方を広げている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・つくりだす喜びを味わい進んで木を切ったり組み合わせたたりして立体に表す学習活動に取り組もうとしている。</li></ul> 

## 4 指導計画を作成 (例) 絵や立体, 工作に表す活動 [第3学年] 題材名「のこぎりザクザク生まれる形」

時間	ねらい・学習活動	評価の観点と評価方法				主体的に学習に取り組む態度	備考
		知識・技能		思考・判断・表現			
		知識	技能	発想や構想	鑑賞		
1 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>のこぎりの使い方を知り、木をいろいろな長さや形に工夫して切る。</li> <li>のこぎりを適切に扱う。</li> </ul>		○			○	<p>1, 2時間目は記録に残す評価はしないが、技能の視点で児童の活動の姿を捉え、指導に生かす。それを踏まえて5時間目に技能について評価する。</p> <p>3時間目は記録に残す評価はしないが、主に発想や構想について児童の活動の姿を捉え指導に生かす。それを踏まえて4時間目に思考・判断・表現(発想や構想)について評価する。</p>
3 4	<ul style="list-style-type: none"> <li>切った(木片)を並べたり組み合わせたりしながら、表したいことを見付け、どのように表すかについて考える。</li> </ul>			○		◎	
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>さらに木を切って組み合わせるなどしながら、表したいことに合わせて表し方を工夫して表す。</li> </ul>	◎ 観察 対話 作品	◎ 観察 対話 作品				
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分たちの作品を見たり、感じ取ったり考えたりしたことを友人と話し合ったりしながら、自分の見方や感じ方を広げる。</li> </ul>				◎ 観察 カード 鑑賞 対話	◎ 観察 対話 作品 作品カード	

ここでは知識と技能を分けているが知識と技能を同じ場面で見取るときにはまとめて書くこともあり得る。

1時間目に評価、記録するのは難しい。◎は考えにくい。継続してみたいということ。  
記録に残さないが評価しないわけではない。児童の習熟度を見取り、指導改善に生かす。○も評価である。今回ここが重要視されている。

○・・・題材の評価規準に照らして、適宜、児童の学習状況を把握し指導に生かす。

◎・・・題材の評価規準に照らして、全員の学習状況を記録に残す。

## 5 指導と評価の実際

時間	ねらい・学習活動	評価		
		評価の観点と評価方法	○児童の学習状況を把握し指導に生かす評価と◎記録に残す評価	具体的な児童の姿
1 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・のこぎりの使い方を知り、木をいろいろな長さや形に工夫して切る。</li> <li>・のこぎりを適切に扱う。</li> </ul>	○技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・のこぎりの使い方や木の切り方などの技能の視点で児童の学習状況を把握し、指導に生かした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・のこぎりで木を切る感覚をつかみ、体全体を働かせてリズムよく切っている。長い木を端から切るだけでなく、真ん中から切る、切り口を斜めにするなどして木の形が多様になっている。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・切った(木片)を並べたり組み合わせたりしながら、表現したいことを見付け、どのように表すかについて考える。</li> </ul>	○思考・判断・表現(発想や構想)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・木片を並べたり組み合わせたりしながら表現したいことを考えているかという思考・判断・表現(発想や構想)の視点で児童の学習状況を把握し、指導に生かした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・切った木を積み上げてみて、次はどこに置こうかと考えている。</li> </ul>
4		◎思考・判断・表現(発想や構想) 【観察 対話】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・思考・判断・表現(発想や構想)の視点で、児童の活動の様子やつぶやきを捉えたり、問いかけたりして記録に残した。「おおむね満足できる状況」に至らない児童には、木片を使っていろいろな組合せ方を試したり木片をいろいろな方向から見たりするよう促すなど、個別に指導をした。現時点の作品の写真を撮っておき次時の指導に生かすようにした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・木片と木片を組み合わせたり、向きを変えたり、木片を入れ替えたりしながら、どのような形ができるかを考えている。</li> <li>・階段のイメージをもち、木の組合せ方を考えて少しずつつなげ、上がっていけるようにしている。</li> </ul>
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さらに木を切って組み合わせるなどしながら、表現したいことに合わせて表し方を工夫して表す。</li> <li>・作品カードに自分の作品のよさや面白さ、表し方の工夫などについて書く。</li> </ul>	◎知識 【観察 対話 作品】  ◎技能 【観察 対話 作品】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知識と技能の視点で、児童の活動の様子やつぶやきを捉えたり、問いかけたり、作品を見たりして記録に残した。1. 2時間目に材料や用具の扱いに課題のあった児童がこの段階で技能を働かせて表現したいものを工夫して表していたら「おおむね満足できる」状況として捉えた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・木片を重ねたり比べたりしながら組み合わせることができる形の感じに着目している。</li> <li>・表現したい感じになるように長細い木片の付け方や木片の組合せ方を工夫して表している。</li> <li>・のこぎりの刃を斜めにして木を薄く切り、それを組み合わせるとプロペラの薄い羽を表している。</li> </ul>
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちの作品を見たり、感じ取ったり考えたりしたことを友人と話し合ったりしながら、自分の見方や感じ方を広げる。</li> </ul>	◎思考・判断・表現(鑑賞) 【観察 対話 作品カード】 ◎主体的に学習に取り組む態度 【観察 対話 作品カード】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・思考・判断・表現(鑑賞)の視点で、児童の学習状況を把握した。また、主体的に学習に取り組む態度の視点で、児童の学習状況を把握した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分や友人の作品を見て、よさや面白さ、表し方の工夫などについて自分なりに感じ取り、話し合っている。</li> </ul>





・のこぎりで木を切る感覚をつかみ、体全体を働かせてリズムよく切っている。長い木を端から切るだけでなく、真ん中から切る、切り口を斜めにするなどして木の形が多様になっている。



・切った木を積み上げてみて、次はどこに置こうかと考えている。



・木片と木片を組み合わせたリ、向きを変えたり、木片を入れ替えたりしながら、どのような形ができるかを考えている。

## 具体的な児童の姿



・自分や友人の作品を見て、よさや面白さ、表し方の工夫などについて自分なりに感じ取り、話し合っている。



・のこぎりの刃を斜めにして木を薄く切り、それを組み合わせてプロペラの薄い羽を表している。



・表したい感じになるように長細い木片の付け方や木片の組合せ方を工夫して表している。



・階段のイメージをもち、木の組合せ方を考えて少しずつつなげて、上がっていけるようにしている。



ご静聴ありがとうございました

